

## コンクリート施工技術の次世代建設技術者への教育コンテンツに関する調査

大成建設株式会社 正会員 ○加藤 隆  
 五洋建設株式会社 正会員 井川 誠二  
 佐藤工業株式会社 正会員 菊田 遥子

近年、土木界では、建設現場の最前線で活躍する建設技術者の高齢化が進み、次世代の若手技術者に技術継承を進めることが喫緊の課題となっている。しかしながら、若手技術者の教育を担う中堅技術者の人材不足、若手技術者の現場での業務内容の変化等の要因もあり、いまの若手建設技術者に対する教育のあり方を検討することが重要である。そのような背景から、2020年に（公社）土木学会 建設技術研究委員会に教育小委員会（以下、「教育小委員会」と略記）が組織され、新しい教育コンテンツのあり方について調査研究を進めている。本報告は、教育小委員会の活動の一環として実施された、コンクリート構造物の施工管理を題材とした場合の教育コンテンツのニーズに関する調査結果をまとめたものである。

### 1 教育小委員会の活動

教育小委員会は、建設会社の中堅技術者を中心に組織されており、若手技術者が土木技術を学ぶために必要な教育コンテンツを検討し、提供することを目的に活動している。これまでに、有用な知見が掲載された既存のホームページのリンク集を作成し、SNS(note)に連載するなど、活発に活動している<sup>1)</sup>。

### 2 コンクリート構造物の施工管理の教材についてのアンケート調査概要

教育小委員会では、動画を中心とした教育コンテンツの作成を検討中であり、それに先立ち、2021年7月に、コンクリート構造物の施工管理を題材に、若手技術者の教育コンテンツのニーズを調査すべく、自由記述によるアンケート調査を実施した。調査対象は、建設会社の若手技術者を指導する立場の先輩技術者とし、アンケートは主に下記の内容とした。

- ① 教育コンテンツとして必要であると考えられる内容
- ② これまでの学習経験（集合研修で不足しているもの、自身がどのように知識を得たか、自主学習の、課題、課題解決のための実践内容 等）
- ③ 教える立場になって経験したこと（若手教育で苦労したこと、若手に不足している知識等、トラブルや失敗からの学び、社内教育での力点等）
- ④ 次世代の担い手に伝えていきたいこと

### 3 アンケート調査結果

#### 3.1 回答者の属性

大手・中小建設会社ならびに、地域建設会社に所属する、20代～60代の土木技術者83名から回答を得られた。回答者の年代と現場経験年数のグラフを図-1に示す。回答者は30～40代の現場経験10年以上の技術者が最も多い。

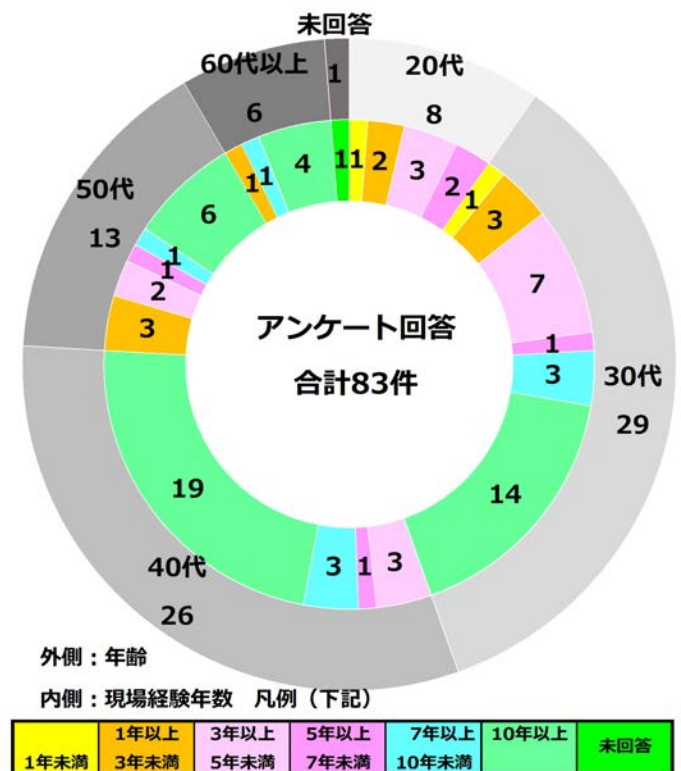


図-1 回答者の年齢と現場経験年数

キーワード 工事現場、若手技術者、コンクリート、施工管理、教育、アンケート調査

連絡先 〒163-0606 東京都新宿区西新宿1-25-1 大成建設（株）土木本部土木企画部企画室 Tel:03-5381-5277

